ＩＳＳＮ 0285－4767

北海道考古学会だより

第　122　号
２０１８．11．９

目　次

北海道胆振東部地震へのお見舞い……1
2018年度　遺跡調査報告会の開催について……1
2019年度　北海道考古学会総会・研究大会のお知らせ……2
月例研究会のお知らせ……3
北海道考古学会賞・奨励賞の募集について……3
事務連絡……4
新入会者のお知らせ……4
会誌編集委員会からのお知らせ……4
会員名簿の取り扱いについて……4
会費納入についてのお願い……4

北海道胆振東部地震へのお見舞い

９月６日に発生した北海道胆振東部地震の被害に遭われた会員の皆様に心からお見舞い申し上げます。被災された会員の皆様が、一日も早く穏やかな日常を取り戻されるようお祈り申し上げます。

また、大規模な土砂崩れや建物の損壊等の被害とともに、文化財の被害も伝えられております。復旧作業等の活動に尽力されている方々に敬意を表しますとともに、かけがえのない財産である文化財が救われ、復旧されますことを願っております。

当会では、特に被害が甚大であった、厚真町・安平町・むかわ町にお住いの会員に対して、会費の減免を実施します。該当する会員は、事務局へ御連絡下さい。

北海道考古学会会長　臼杵　勲

2018年度　遺跡調査報告会の開催について

今年度行われました北海道内の遺跡調査についての報告会を以下の通り開催いたします。

開催にあたり、例年通り発表遺跡の資料と地域ごとの発掘調査の概況を掲載した資料集を刊行します。また、報告会終了後には懇親会を予定しておりますので、こちらもぜひご参加下さい。

○日　時：2018年12月８日(土)　13：00～16：30（開場12：30）
○会　場：北海道大学　学術交流会館１階　小講堂
　　＊北海道大学正門から入ってすぐ左側の建物です。
　　＊公共の交通機関をご利用下さい。
○参加費：無料（資料集は1,000円で販売予定です。）
○スケジュール（予定）＊報告内容および時間・順序は変更になる可能性があります。

12：30	開場
13：00	開会・会長挨拶・日程説明ほか
13：10～13：25	北海道博物館協会　9.06北海道胆振東部地震の被害とその対応について
13：25～13：40	恵庭市　ユカンボシＥ２遺跡【縄文時代晩期】
13：40～14：10	伊達市　カムイタプコプ下遺跡【アイヌ文化期】
14：10～14：40	遠軽町　タチカルシュナイ遺跡【後期旧石器時代】
	北見市　吉井沢遺跡【縄文時代草創期】
14：40～15：10	湧別町　シブノツナイ竪穴住居跡・川西２遺跡【擦文文化期・オホーツク文化期】
15：10～15：20	（休　憩）

15：20～15：40　斜里町　カモイベツ遺跡【続縄文時代～オホーツク文化期】
15：40～15：55　白老町　ポロト３遺跡【縄文時代中期】
15：55～16：20　木古内町　幸連５遺跡【縄文時代前期～後期】
16：20～16：30　閉会
○懇親会
　時　間：17：30～
　会　場：当日お知らせします。
　会　費：4,000円　飲み放題付き（予定）
○その他：当日書籍等の販売・チラシ等の配布を希望する方は事務局まで御一報下さい。
　　当報告会は道民カレッジ連携講座です。
　　当日、北海道胆振東部地震への支援のため、募金窓口を開設します。お預かりした募金は、北海道博物館協会を通じて文化財関係の復旧支援のために利用されます。

2019年度北海道考古学会総会・研究大会のお知らせ

　次回の総会・研究大会は、下記の日時・会場で開催予定です。研究大会のテーマおよび発表者は現在調整中ですが、詳細が決まり次第、学会ホームページおよびだよりでお知らせいたします。

○日　時：2019年５月11日（土）　10：00～17：30
○会　場：北海道大学構内
＊日時・会場は変更になる可能性があります。

月例研究会のお知らせ

【今後の予定】
○日　時：11月10日（土）　13：00～17：00
○会　場：札幌学院大学　Ｂ101教室　（江別市文教台11番地）
○主　催：札幌学院大学総合研究所
○テーマ：「文化遺産と地域振興」
○スケジュール：
13：00　主催者挨拶　　鶴丸俊明（札幌学院大学学長）
13：05　趣旨説明　　臼杵　勲（札幌学院大学人文学部・北海道考古学会会長）
13：10　基調講演「北海道の旧石器文化」 佐藤宏之（東京大学大学院人文社会系研究科）
14：30 「置戸町黒曜石原産地における札幌学院大学の調査」 大塚宜明（札幌学院大学）
15：00　休憩（10分）
15：10 「上ノ国町における文化遺産の保存と活用」 塚田直哉（上ノ国町教育委員会）
15：40 「観光立国・地方創生に向けた文化財ＶＲの取り組み」 浅野正樹（凸版印刷株式会社）
16：30　討論「地域振興における文化遺産の活用」

※札幌学院大学総合研究所シンポジウム、道民カレッジ連携講座
※入場無料・事前申し込み不要

会員の皆様で、月例会での研究発表を希望する方は、北海道考古学会事務局までご一報ください。
※北海道考古学会事務局hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp

北海道考古学会賞・北海道考古学会奨励賞の募集について

北海道考古学会規則第５号にもとづき、下記の要領で北海道考古学会賞・北海道考古学会奨励賞の候補者を募集します。

１．北海道考古学会賞
趣旨：北海道およびその周辺地域の考古学（関連学問分野をふくむ）の研究、もしくは北海道考古学会の発展に大きく貢献した会員または団体の功績を称える。
候補者の要件：北海道およびその周辺地域の考古学（関連学問分野をふくむ）の研究、もしくは北海道考古学会の発展に大きく貢献した会員または団体（所属会員の有無を問わない）。

２．北海道考古学会奨励賞
趣旨：北海道およびその周辺地域の考古学（関連学問分野をふくむ）の研究に大きく貢献した若手研究者の研究活動を奨励する。
候補者の要件：北海道およびその周辺地域の考古学（関連学問分野をふくむ）において優れた研究を行い、将来の発展に貢献すると期待される満40歳未満（受賞年の４月１日現在）の会員。

３．応募・選考方法（北海道考古学会賞・同奨励賞とも）
（１）自薦および他薦とする。
（２）締切　2019年１月30日（必着）。
（３）所定の応募用紙を学会ホームページからダウンロードし､学会事務局あてに郵送もしくは電子メールで送付する。
【送付先】北海道考古学会事務局
〒059-0014　登別市富士町７丁目33-1　登別市教育委員会　社会教育グループ気付
【電子メールアドレス】hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp
（４）北海道考古学会賞選考委員会（副会長、運営委員２名、一般会員２名から構成）が、応募書類をもとに各賞の趣旨に沿って業績を総合的に判断して選考する。

４．その他
（１）北海道考古学会奨励賞受賞者に授与される研究奨励費は５万円とする。
（２）受賞式出席にともなう交通費は支給しない。
（３）応募書類は返却しない。
（４）個人情報は、各賞の選考以外の目的で使用しない。

＊学会賞の規則については「だより」109号およびホームページを参照ください。

事　務　連　絡

新入会者のお知らせ
樽澤　優芽子（ドイツ）　　大道　三奈（札幌市）

会誌「北海道考古学」第55輯の投稿について
『北海道考古学』第55輯（2019年３月刊行）への投稿希望受付は終了しました。
第56輯（2020年３月刊行）以降への投稿につきましては、だより123号以降にお知らせします。

会員名簿の取り扱いについて
今般、学会事務局あてに会員名簿作成の要望をお寄せいただきました。学会運営委員会としましては、個人情報を取り巻く昨今の状況を鑑み、名簿という形で個人情報を全会員に開示することに対して慎重にならざるを得ません。これまでも議論を重ねてきましたが、運営員会において、会員名簿の作成は行わないとの認識に至っております。会員の皆様には、ご不便に感じられる方もおいでと思いますが、ご理解いただけますようお願いいたします。

会費納入についてのお願い
会の運営には、会員の皆様のご協力が不可欠です。会費の年内納入にご協力いただきますようお願いいたします。また、本年度を除く過去３年以上の会費が納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を確認後、送付いたします。
会費未納者へは、学会事務局から督促の連絡を差し上げることがありますので、ご了承ください。

郵便局口座番号：02770-6-8358　　加入者名：北海道考古学会
年会費：（一般）5,000円　（学生）3,500円

※北海道胆振東部地震の被害が甚大であった厚真町・安平町・むかわ町在住の会員に対して、会費の減免を実施します。詳細は事務局にお問い合わせください。

北海道考古学会だより　　第122号　　2018年11月９日　発行
発行所　北海道考古学会（ホームページ：http://haa.main.jp/cms/）
事務局：〒059-0014　登別市富士町７丁目33-1
登別市教育委員会　社会教育グループ気付　北海道考古学会事務局
TEL　：(0143)88-1129
FAX　：(0143)85-9744
E-mail：hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp
印　刷　北海道図書企画　　(011)668-1131